

美を伝える

シンポジウム
京都国立博物館 文化財保存修理所30年の歩み

■開催趣旨■

京都国立博物館に文化財保存修理所が設立され、仕事が始まったのは、1980(昭和55)年の春でした。文化財保護法施行60年にあたる今年、本修理所は満30年を迎えることになりました。この修理所は、国が建物をつくり管理し、文化財修理を専門とする民間の工房が事業を行うという、いわゆる民活の先駆的事例として注目されてきました。これまでに国指定を含む重要な文化財の修理を毎年重ね、その数はすでに4000件を超えています。修理所設立30周年を記念して開催する本シンポジウム「美を伝える」は、普段は未公開の修理所で行っている仕事を一般の方々に広く紹介するとともに、文化財の保存修理の重要性をご理解いただくことを目的としています。

プログラム

13:00-13:10【開会挨拶】佐々木 丞平(京都国立博物館 館長)

第一部 京都国立博物館文化財保存修理所と文化財修理

13:10-13:40【招待講演】「護り、伝える、ということ」
神居 文彰(平等院 住職)

13:40-14:10【基調講演】「なぜ文化財保存修理が大切なのか」
村上 隆(京都国立博物館)

14:10-14:40 ポスターセッション(会場2階)

第二部 文化財保存修理の仕事

座長:加藤章男((株)修美)

14:40-15:10【報告 1】《国宝・重文》妙法院三十三間堂の諸尊
浅湫 毅(京都国立博物館)/藤本 青一((財)美術院)

15:10-15:40【報告 2】《国宝》一遍聖絵
若杉 準治(京都国立博物館)/岡 泰央((株)岡墨光堂)

15:40-15:50 休憩

15:50-16:20【報告 3】《国宝》東大寺文書
赤尾 栄慶(京都国立博物館)/藤岡 春樹((株)光影堂)

16:20-16:50【報告 4】《重文》古澤殿島神社の能装束
山川 暁(京都国立博物館)/鈴木 裕((株)松鶴堂)

16:50-17:00【閉会挨拶】太田和 良幸(京都国立博物館 副館長)

申込方法

シンポジウム「美を伝える」に参加希望と明記して、
1.氏名(ふりがなをふってください)
2.郵便番号、住所(自宅が勤務先かを明記)
3.電話番号、FAX番号
4.所属、社名(複数お申込の場合は全員の氏名を明記)
をご記入の上、官製はがき、FAXにて事務局までお申送ください。Eメールによる応募も受け付けております。追って参加証を送付致します。応募多数の場合は、抽選とさせていただきます。

※ご記入いただいた個人情報は、参加証の送付等、当シンポジウムの運営にのみ利用させていただきます。

申込に関する問合せ先

日本コンベンションサービス株式会社 関西支社内
「京都国立博物館シンポジウム「美を伝える」」事務局 水田・松山
(月～金9:30～17:30)
〒541-0042 大阪市中央区今橋4-4-7-2F
TEL:06-6221-5932 / FAX:06-6221-5939
E-mail:sympo30@convention.co.jp

締切り

平成22年5月10日(月)必着

文化財保護法60年記念事業

京都国立博物館 文化財保存修理所三十年の歩み

美を伝える

シンポジウム

日時:平成22年5月26日(水)

13時～17時(受付11時30分より・開場12時)

場所:京都テルサホール

京都市南区新町通九条下ル 京都府民総合交流プラザ内 TEL:075-692-3400
JR京都駅八条口より徒歩約15分 近鉄東寺駅より徒歩約5分 地下鉄九条駅より徒歩約5分

主催:京都国立博物館文化財保存修理所設立三十周年
記念シンポジウム実行委員会

後援:文化財保存修復学会・京都新聞社・NHK京都放送局

